

令和2年8月14日

アンチドーピング委員会
委員長 蜂須 貢 様
副委員長 鈴木 光 様

公社) 日本パワーリフティング協会
会長 (委員会担当理事) 古城 資久

8月14日付委員会提言について (回答)

猛暑が続きますが、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、全日本選手権の開催について、貴委員会にて活発な議論が行われた様子、深謝いたします。

8月29日、30日の全日本選手権開催に関して、8月11日の常務会においても1時間以上の議論が行われ、感染対策をより強化する事を盛り込み、開催する事が決定いたしました。今回のコロナ感染症に対しては不明確な事ばかりですので、大会開催に関しては何が正解なのかは相当先でなければ評価できないと思います。事は健康、特に人命にかかわる場合もある事なので、御懸念も十分に理解いたします。

私は医師ですので、健康だけを考えれば大会をしない事が最も良い事なのは同意いたします。しかし同時に元パワーリフターとして、JPA 会長として大会を開催する事の重要性も感じております。大会開催のリスクをどのように見定めるかで開催、非開催の判断が分かれると思いますが、常務会は開催を決定いたしました。

この決定には賛同される方も賛同されない方もおられる事は承知しております。大会開催に対する国内 NF の判断は各 NF によって分かれており、やはり開催・非開催のどちらかしかないという絶対的な判断は、だれにも下せない状況です。

日本スポーツ協会は、感染対策を取りつつ大会開催を進める方向性を打ち出していますが、開催の判断は全て NF に任されています。

JPA では、今年度内に全日本クラシックベンチプレス選手権、全日本学生パワーリフティング選手権、全日本ジュニアパワーリフティング選手権、全日本高校パワーリフティング選手権、全日本サブジュニアパワーリフティング選手権、全日本クラシックパワーリフティング選手権の開催が予定されており、全日本クラシックマスターズパワーリフティング選手権の開催も準備に入ろうとしています。

今後の大会開催に関して、貴委員会の提言を真摯に受け止め、開催可否に関して慎重な判断を継続していきたいと思っております。今後とも宜しく申し上げます。

以上